

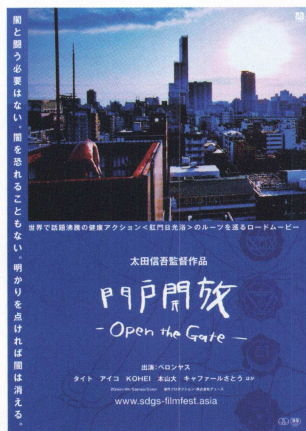
映画監督、そして俳優。日本とフランスを拠点に、フィクションとノンフィクションを自在に行き来しながら制作活動続ける、**太田信吾**監督。2022年に発表された**ドキュメンタリー短編映画3本**を特集上映する。



『エディブル・リバー』(2022年/20分)

長野県の伊那谷では毎年12月から翌2月にかけて伝統的なざぎむし漁が行われている。だが護岸工事による水質の変化や気候変動、漁師の高齢化などざぎむし漁には多くの壁が立ちはだかっていた。本作は50年近く愛着をもってざぎむし漁を続けてきた漁師が引退するまでの2年間と、地域に根付いたざぎむしの文化を未来へ繋いでいこうと動く高校生たちの交流・活動の軌跡を追いかけたドキュメンタリー。

<監督> 太田信吾
 <出演> 菅沼重真/大槻海伶/中村昭彦/平沢正信/澤口章一/有賀晶子/三橋亮太
 菅沼家のみなさま/長野県上伊那農業高等学校のみなさま
 長野県 駒ヶ根市・伊那市のみなさま



『門戸開放 ~Open the Gate~』(2022年/20分)

コロナ禍、長年、家族と共に暮らしていたタイから帰国を余儀なくされた俳優、ペロン・ヤス。長年寄り添ったタイ人の妻とも別れたばかり。実家で子供とともに自宅に籠る日々のなかで、将来への不安を抱えていた。俳優の仕事も激減し、気づけば次第に心は荒み鬱状態となっていた。自由奔放に過ごしていたタイでの暮らしはどこへ…? そんな彼に長年鬱で苦しんできた友人が「肛門日光浴」というアクションを勧める。彼は肛門日光浴のルーツを探するため、インドのヨガの聖地・リシケシを訪ねることを決意する…。世界で話題沸騰の健康アクション<肛門日光浴>のルーツを巡るロードムービー。

<監督> 太田信吾
 <出演> ペロンヤス/宮内泰和/アイコ/KOHEI/本山大/キャファールさとう/Fakuna Dash
 Radhika Guruji/Pradeep Kumar Pandey/リシケシのみなさま/ブリーのみなさま



『ドライブ・マイ・ソーラーキッチンカー』(2022年/20分)

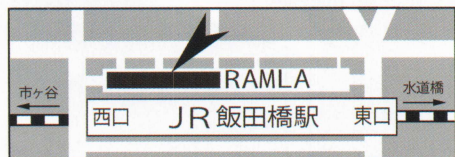
現在、北海道には運転を停止しているものの再稼働に向けて審査が続いている原発がある。北海道電力が保有する泊発電所がそれだ。1988年、稼働を翌年に控え、泊発電所で試運転を止めようとする原発の敷地に花を植えて抗議活動を行う学生たちの姿があった。本作の主人公であるかのうさちあ(本名:加納知之)もその一人だ。熱量は虚しく、学生の数名は逮捕され原発も翌年稼働を開始した…。あれから33年の月日を経た今、運動の失敗を今も胸に抱えながら、自分なりの仕方環境への取り組みを試行錯誤しながら実践する主人公の取り組みを見つめた。

<監督> 太田信吾
 <出演> かのうさちあ/内田ボブ/徳井和美/岡崎慎一/中江 敏幸/前田 渉/すずき産地
 1988年北海道泊原発の運転に抗議した若者のみなさま(ほか)

●**先着順**● 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、参加人数を上限**80**名とさせていただきます。参加される皆さまには、お名前とご連絡先の記入を受付にてお願いします。あらかじめご了承ください。

ボランティアスタッフ及び上映作品募集中!
問:ビデオアクト上映プロジェクト

お問い合わせ
 Eメール: jyouei@videoact.jp <http://www.videoact.jp/>
 電話:045-228-7996 FAX:045-228-7976(ローポジション・土屋気付)



<上映会場>
東京ボランティア市民活動センター
 東京都新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階
 JR中央線・地下鉄飯田橋駅下車 徒歩1分 (03-3235-1171)

VIDEO

第117回 VIDEO ACT! 上映会

太田信吾

監督短編特集

『エディブル・リバー』

『門戸開放』

『ドライブ・マイ・ソーラーキッチンカー』

(2022年 / 各作品20分・計60分)

参加費 500円 (介助者は無料)
上映後、監督の太田信吾さんを迎え、
トーク&ディスカッション有。

2023

5.9

火

開場 18時30分
開始 19時

三